



令和4年度学校だより8月号

東の風光る

歴史と文教の城下町 たかなべ
高鍋町立高鍋東中学校
 Municipal Takanahe East Junior High School
 自立の精神に燃え、広く敬愛する心を持ち、たくましい創造力を発揮する生徒の育成



一期一会



一生にただ一度の貴重な出会い、その人とはこれから何度も会う機会はあるかもしれないが、二度と巡り合わないものと思って、今のその時間を大切にすべき。高鍋東中生も、常にこの言葉を意識して、友との時間を大切に過ごしてほしいと思います。

1 学期終業式



7月20日は終業の日。各学年ともに成長した姿を見ることができた学期だったと思います。式においては生徒代表4名が「1学期の反省とこれからの決意」をしっかりと述べてくれました。

一学期を振り返って

3年代表

皆さん、今日で1年間の3分の1が終わります。私たち3年生にとっては、忙しい学期であり、私にとってはとてもよく感じられた一学期でした。実力テストや修学旅行、最後の中体連など、中学校生活において重要な行事がたくさんありました。

私たちが入学してからというもの、新型コロナウイルスの影響で部活動の練習ができない日が続いたり、大会が中止や延期になったりすることが、この2年半の間繰り返されてきました。中には、途中で目標を見失い落ち込むこともあったと思います。それでもチームメイトとその度に励まし合い切磋琢磨しながら最後の大会を迎えました。結果や試合内容の満足度はそれぞれ違うかもしれませんが、中体連の自分の目標に向けて本気で努力し、成長してきたことに大きな意味があり、私たちの今後のことに繋がるだろうと私は思います。そして、部活動を引退した私たちは、本格的な受験生になります。先日行われた実力テストでは、1、2年生のすべての単元が範囲でした。範囲が広く大変でしたが、昼休み等の時間を削って勉強している人が多くいました。実力テストは今回を含めて4回しかなく、一つ一つのテストが大きく進路に関わってきます。「夏休みを制する者が受験を制する」と先生方がおっしゃる様に、今年の夏休みは自分の苦手な分野や理解が不十分な部分を徹底的に復習し、志望校に合格できるような実力をつけたいと思います。

また、私たちは、先日修学旅行で熊本県と長崎県を訪れました。長崎県では平和学習を全員で行い、長崎原爆資料館の見学を行ったり、宿泊先で実際に被爆された方の講話を聞いたりしました。私は原爆資料館で家の金属の表札が大きく曲がっている展示物を見たり、人の皮膚がただれている写真を見たりして学校での事前学習とはまた違った恐ろしさを感じました。原爆投下が現実になり、たくさんの方々が命を落としたということが伝わってきました。「百聞は一見にしかず」とはこのことだと実感した機会でした。また、この修学旅行を実施するために力を尽くしてくださった先生方を始め、関わってくださった多くの方々にも感謝の気持ちをもつことも大切だと思いました。

これらの経験を二学期からの勉強や学校行事に最大限に生かすとともに、3年生としての自覚を高くもち引っ張っていききたいと思います。



【後記】 終業式後、中体連大会やパワコン等の表彰を行いました。あまりにも多くて予定時間をずいぶんオーバーしました！！嬉しい悲鳴です。。(校長)

命の大切さを学ぶ教室

7月1日に、講師をお招きしての教室が開催されました。講師の方は実際にご家族を交通事故で亡くされた被害者遺族の方であり、その話は深く真剣に受け止めたところでした。生徒たちの感想を紹介します。

- ・ 講師の方の話聞いて本当に辛い気持ちが伝わってきたし、自分も胸が痛かった。絶対に事件・事故を起こして死なせたり、自分も命を落とすことはダメだと、とても心に残りました。
- ・ 私は今回のお話を聞いて、被害者遺族がどれだけ辛い思いをして日々過ごしているかを考えるととても胸が痛みました。これからは友達や家族、そして自分の命の大切さをしっかり理解し、命を守れる行動をしていきたいです。
- ・ 今日学んだことは一つの命は必ず誰かに必要とされて、誰かに大切にされているということです。命は一つしかないけどそれ以上にたくさんの人に大切にされているので自分も自分の命を大切に、たくさんの人に感謝を伝えたいと思います。

「信頼」がキーワード・・・



終業式において、授業や係活動、部活動等での生徒たちの頑張りと成長を素直に喜んで伝えることを伝えました。一方、気になり改善してほしいことも2点伝えました。その一つは、校内では学習目的でいつでも自由に使えるタブレット端末を、昼休み等に教師が近づいていくとすぐに他の画面に変えようとする行動は悲しい行動であること。あと一つは、相手の気持ちを考えずに、他人を軽い気持ちでいたずらしたり傷つけたりしていないかということ。いずれも残念で悲しく「信頼」を欠く行為です。今年度、学校の決まりの多くを変更していますが、それは高鍋東中生としてのこれまでの姿が立派であり、その伝統をしっかり受け継いでくれるという「信頼」があるからです。生徒の皆さんには、このことをしっかり受け止めて、思い出多い有意義な中学生らしい夏休みにしてほしいと思います。2学期はさらに素晴らしい学校生活にしていきたいと思います。

別件ですが・・・先日、ある店舗から残念な話がありました。雨天時等、車での生徒の送迎のための駐車場になっているとのこと。危険であり、中学生なら自力で登下校するのは当たり前だと思いますが、いかがでしょうか・・・



ライチありがとうございます！

7月20日の給食にミキファームさんから、珍しいフルーツのライチを生徒一人に1個いただきました。大きい実を皮をむいてほおぼるととてもジューシーで美味しかったです。今年は、特に豊作だったとのこと、来年度もぜひ、豊作を期待しますとお伝えしました！

リンジー先生ありがとうございました！

3年間本町のALTとして勤められたリンジー先生が、任期を終えられてアメリカに帰られました。生徒からは人気で英語が得意になった生徒たちも多く、高鍋を去られることは残念です。母国でのご活躍をお祈りいたします！

